

聖ペテロ館 省エネ運用マニュアル

2011.11.30

項目	運用方法	節電量及び効果	
事務所での省エネ	パソコン	退勤時及び長時間の離席時には電源をOFF	待機電力低減
	照明消灯	昼休みロビー消灯・不在場所の消灯	電力量節減
	残業時の照明	必要部分のみ点灯	電力量節減
	付室・打合室の扉	部屋の扉常時閉止	冷暖房負荷の低減
	ブラインドの活用	夏期のみ常時降ろす実施(西日対策)	冷房負荷の低減
	シュレッダー主電源 常時OFF	使用時のみ主電源ON	待機電力低減
	コピー機	昼休み・帰宅時主電源スイッチOFF 翌日は業務開始時ではなく、最初の利用者が主電源スイッチをON	待機電力低減 3.3kW
	食器乾燥機	まとめて乾燥する 時間短縮・回数減少	6人用マイコン省エネタイプ 0.268kW/回
	空調機	冷房 27℃、暖房 22℃、 但し中間期は柔軟に対応する	冷暖房負荷の低減
	風量設定	起動時 強、安定後 弱	電力量節減
	電気ポットの使用台数	常時は1台、必要時柔軟に対応	電力量節減
	電化製品の電力節減	不要の製品は帰宅時主電源スイッチOFF	待機電力低減
	空室時の照明消灯	最終退出者による消灯	電力量節減
共用部での省エネ	廊下照明の消灯	使用時は半分点灯	27W×11台=0.297kW
	廊下の掲示板用スポットライト	18時以降消灯	65W×9台=0.585kW
	湯沸室消灯	使用時のみ点灯	0.099kW
	エントランスホール照明消灯	昼間消灯	32W×11台=0.352kW

注1) 節電量は目安であり、機種によって効果は変わります。機器に表記された電力消費量に運用時間を乗じて電力消費量合計を算出します。

注2) 注1)の電力消費量合計に 1kW/hあたり 22円を乗じて経費節減効果の目安としてください。

注3) 共用部の廊下照明は消灯する部分のスイッチに不点灯箇所の旨を明示しますので、消灯のご協力をお願い致します。

聖アンデレ館 省エネ運用マニュアル

2015.10.16

項目	運用方法	節電量及び効果
事務所での省エネ	パソコン	退勤時及び長時間の離席時には電源をOFF 待機電力低減
	照明消灯	不在場所の消灯 電力量節減
	残業時の照明	必要部分のみ点灯 電力量節減
	付室・打合室の扉	部屋の扉常時閉止 冷暖房負荷の低減
	ブラインドの活用	夏期のみ常時降ろす (朝日・西日対策) 冷房負荷の低減
	シュレッター主電源 常時OFF	使用時のみ主電源ON 待機電力低減
	コピー機	昼休み・帰宅時主電源スイッチOFF 翌日は業務開始時ではなく、最初の利用者が主電源スイッチをON 待機電力低減 3.3kW
	食器乾燥機	まとめて乾燥する 時間短縮・回数減少 6人用マイコン省エネタイプ 0.268kW/回
	空調機	冷房 27°C、暖房 22°C、 但し中間期は柔軟に対応する 冷暖房負荷の低減
	風量設定	起動時 強、安定後 弱 電力量節減
	電気ポットの使用台数	常時は1台、必要時柔軟に対応 電力量節減
	電化製品の電力節減	不要の製品は帰宅時主電源スイッチOFF 待機電力低減
空室時の照明消灯	最終退出者による消灯 電力量節減	
個人研究室での省エネ	パソコン	退勤時及び長時間の離席時には電源をOFF 待機電力低減
	空調停止	不在時の空調停止 電力量節減
	空調機	冷房 27°C、暖房 22°C、 但し中間期は柔軟に対応する 冷暖房負荷の低減
	照明消灯	不在時の照明消灯 電力量節減
	全熱交換機	不在時の運転停止 電力量節減
	その他の電気機器	不在・不使用時の主電源スイッチOFF 電力量節減
図書館での省エネ	照明消灯	開館直前まで消灯 電力量節減
	ブラインドの活用	夏期のみ常時降ろす(西日対策) 冷房負荷の低減
共用部での省エネ	廊下照明の消灯	使用時は半分点灯 27W×11台=0.297kW
	湯沸室消灯	使用時のみ点灯 0.099kW
	エントランスホール照明消灯	昼間消灯 32W×11台=0.352kW

注1) 節電量は目安であり、機種によって効果は変わります。機器に表記された電力消費量に運用時間を乗じて電力消費量合計を算出します。

注2) 注1)の電力消費量合計に 1kW/hあたり 22円を乗じて経費節減効果の目安としてください。

注3) 共用部の廊下照明は消灯する部分のスイッチに不点灯箇所の旨を明示しますので、消灯のご協力をお願い致します。

教室棟・聖トマス館 省エネ運用マニュアル

2011.11.30

項目	運用方法	節電量及び効果	
事務所での省エネ	パソコン	退勤時及び長時間の離席時には電源をOFF	待機電力低減
	照明消灯	不在場所の消灯	電力量節減
	残業時の照明	必要部分のみ点灯	電力量節減
	付室・打合室の扉	部屋の扉常時閉止	冷暖房負荷の低減
	シュレッダー主電源 常時OFF	使用時のみ主電源ON	待機電力低減
	コピー機	昼休み・帰宅時主電源スイッチOFF 翌日は業務開始時ではなく、最初の利用者が主電源スイッチをON	待機電力低減 3.3kW
	空調機	冷房 27℃、暖房 22℃、 但し中間期は柔軟に対応する	冷暖房負荷の低減
	電気ポットの使用台数	常時は1台、必要時柔軟に対応	電力量節減
	電化製品の電力節減	不要の製品は帰宅時主電源スイッチOFF	待機電力低減
教室での省エネ	空室時の照明消灯	教室最終退出者による消灯操作	電力量節減
	授業中の空調機	温度設定「低」～「高」の範囲で柔軟に対応する	冷暖房負荷の低減
	授業中のブラインド・暗幕の利用	夏期のみ 半開	日中の冷房負荷の低減
	授業外での学生の教室使用	授業以外の利用では、空調・照明負荷の低減のため出来る限り小教室を利用する	空調は冷暖房負荷の低減
共用部での省エネ	廊下照明の消灯	使用時は半分点灯	27W×77台＝2.079kW
	湯沸室消灯	使用時のみ点灯	0.099kW
	エントランスホール照明消灯	昼間消灯	電力量節減

注1) 節電量は目安であり、機種によって効果は変わります。機器に表記された電力消費量に運用時間を乗じて電力消費量合計を算出します。

注2) 注1)の電力消費量合計に 1kW/hあたり 22円を乗じて経費節減効果の目安としてください。

注3) 共用部の廊下照明は消灯する部分のスイッチに不点灯箇所の旨を明示しますので、消灯のご協力をお願い致します。

注4) 教室の空調機は集中管理により運転管理していますので、利用者による停止操作は行なわないでください。

聖ヨハネ館 省エネ運用マニュアル

2011.11.30

項目	運用方法	節電量及び効果	
事務所での省エネ	パソコン	退勤時及び長時間の離席時には電源をOFF	待機電力低減
	照明消灯	不在場所の消灯	電力量節減
	残業時の照明	必要部分のみ点灯	電力量節減
	付室・打合室の扉	部屋の扉常時閉止	冷暖房負荷の低減
	シュレッダー主電源 常時OFF	使用時のみ主電源ON	待機電力低減
	コピー機	昼休み・帰宅時主電源スイッチOFF 翌日は業務開始時ではなく、最初の利用者が主電源スイッチをON	待機電力低減 3.3kW
	空調温度設定	冷房 27℃、暖房 22℃、 但し中間期は柔軟に対応する	冷暖房負荷の低減
	常時は1台、必要時柔軟に対応	常時は1台、必要時柔軟に対応	電力量節減
	電化製品の電力節減	不要の製品は帰宅時主電源スイッチOFF	待機電力低減
教室での省エネ	空調機停止	一括運転開始後、授業の無い部屋の空調機を現場で停止する	冷暖房負荷の低減
	空室時の照明消灯	最終退出者による消灯操作	電力量節減
	授業中のブラインド	夏期のみ 半開	日中の冷房負荷の低減
	放課後はブラインド	夏期のみ 毎日降ろして帰る	翌朝の冷房負荷低減
	授業外での学生の教室使用	授業以外の利用では空調・照明負荷の低減のため出来る限り小教室を利用する	空調は冷暖房負荷の低減
共用部での省エネ	廊下照明の消灯	使用時は半分点灯	27W×77台=2.079kW
	湯沸室消灯	使用時のみ点灯	0.099kW
	エントランスホール照明消灯	昼間消灯	42W×12台×3灯=1.511kW
	ヨハネホール照明消灯	昼間は半分点灯	42W×9台×6灯=2.268kW

注1) 節電量は目安であり、機種によって効果は変わります。機器に表記された電力消費量に運用時間を乗じて電力消費量合計を算出します。

注2) 注1)の電力消費量合計に 1kW/hあたり 22円を乗じて経費節減効果の目安としてください。

注3) 共用部の廊下照明は消灯する部分のスイッチに不点灯箇所の旨を明示しますので、消灯のご協力をお願い致します。

チャペル 省エネ運用マニュアル

2011.11.30

項目	運用方法	節電量及び効果
事務所での省エネ	パソコン	退勤時及び長時間の離席時には電源をOFF 待機電力低減
	照明消灯	不在場所の消灯 電力量節減
	付室・打合室の扉	部屋の扉常時閉止 冷暖房負荷の低減
	ブラインドの活用	夏期のみ常時降ろす実施(西日対策) 冷房負荷の低減
	シュレッダー主電源 常時OFF	使用時のみ主電源ON 待機電力低減
	コピー機	昼休み・帰宅時主電源スイッチOFF 翌日は業務開始時ではなく、最初の利用者が主電源スイッチをON 待機電力低減 3.3kW
	食器乾燥機	まとめて乾燥する 時間短縮・回数減少 6人用マイコン省エネタイプ 0.268kW/回
	空調機	冷房 27℃、暖房 22℃、 但し中間期は柔軟に対応する 冷暖房負荷の低減
	常時は1台、必要時柔軟に対応	常時は1台、必要時柔軟に対応 電力量節減
	電化製品の電力節減	不要の製品は帰宅時主電源スイッチOFF 待機電力低減
空室時の照明消灯の励行	最終退出者による消灯操作 電力量節減	
共用部での省エネ	廊下照明の消灯	使用時は半分点灯 27W×11台=0.297kW
	湯沸室消灯	使用時のみ点灯 0.099kW
	エントランスホール照明消灯	昼間消灯 電力量節減

注1) 節電量は目安であり、機種によって効果は変わります。機器に表記された電力消費量に運用時間を乗じて電力消費量合計を算出します。

注2) 注1)の電力消費量合計に 1kW/hあたり 22円を乗じて経費節減効果の目安としてください。

注3) 共用部の廊下照明は消灯する部分のスイッチに不点灯箇所の旨を明示しますので、消灯のご協力をお願い致します。

体育館 省エネ運用マニュアル

2011.11.30

項目	運用方法	節電量及び効果	
事務所での省エネ	パソコン	退勤時及び長時間の離席時には電源をOFF	待機電力低減
	照明消灯	不在場所の消灯	電力量節減
	残業時の照明	必要部分のみ点灯	電力量節減
	付室・打合室の扉	部屋の扉常時閉止	冷暖房負荷の低減
	ブラインドの活用	夏期のみ常時降ろす実施(西日対策)	冷房負荷の低減
	シュレッダー主電源 常時OFF	使用時のみ主電源ON	待機電力低減
	コピー機	昼休み・帰宅時主電源スイッチOFF 翌日は業務開始時ではなく、最初の利用者が主電源スイッチをON	待機電力低減 3.3kW
	空調機	冷房 27℃、暖房 22℃、 但し中間期は柔軟に対応する	冷暖房負荷の低減
	常時は1台、必要時柔軟に対応	常時は1台、必要時柔軟に対応	電力量節減
電化製品の電力節減	不要の製品は帰宅時主電源スイッチOFF	待機電力低減	
共用部での省エネ	廊下照明の消灯	使用時は半分点灯	27W×11台=0.297kW
	エントランスホール照明消灯	昼間消灯	100W×6台=0.6kW
体育館関連施設での省エネ	部室棟廊下照明消灯	半分点灯	20W×22本=0.44kW
	部室・合宿棟 各部屋カーテン使用	夏期のみカーテンを閉める	冷房負荷の低減
	グラウンド・テニスコート照明利用制限	点灯は原則として17時以降とする	電力量節減
	室内プールの水銀灯消灯	プール使用時のみ点灯	400W×62台=24.8kW
	室内プールの水温	春・秋学期中は29℃で運用	

注1) 節電量は目安であり、機種によって効果は変わります。機器に表記された電力消費量に運用時間を乗じて電力消費量合計を算出します。

注2) 注1)の電力消費量合計に 1kW/hあたり 22円を乗じて経費節減効果の目安としてください。

注3) 共用部の廊下照明は消灯する部分のスイッチに不点灯箇所の旨を明示しますので、消灯のご協力をお願い致します。

カンタベリー館 省エネ運用マニュアル

2011.11.30

項目	運用方法	節電量及び効果
事務所での省エネ	パソコン	退勤時及び長時間の離席時には電源をOFF 待機電力低減
	照明消灯	不在場所の消灯 電力量節減
	ホールの空調・照明	夜間使用時こまめな発停操作 冷暖房負荷の低減
	付室・打合室の扉	部屋の扉常時閉止 冷暖房負荷の低減
	空調機	冷房 27℃、暖房 22℃、 但し中間期は柔軟に対応する 冷暖房負荷の低減
	電化製品の電力節減	不要の製品は帰宅時主電源スイッチOFF 待機電力低減
共用部での省エネ	廊下照明の消灯	使用時は半分点灯 27W×13台=0.351kW
	湯沸室消灯	使用時のみ点灯 0.06kW
	エントランスホール照明消灯	昼間消灯 27W×15台=0.405kW

注1) 節電量は目安であり、機種によって効果は変わります。機器に表記された電力消費量に運用時間を乗じて電力消費量合計を算出します。

注2) 注1)の電力消費量合計に 1kW/hあたり 22円を乗じて経費節減効果の目安としてください。

注3) 共用部の廊下照明は消灯する部分のスイッチに不点灯箇所の旨を明示しますので、消灯のご協力をお願い致します。